TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまは愛　御父と御子の交わり

ヨハネの手紙第一 1章1節－4節

2025年11月15日 & 16日

余沢　武　牧師

1. 初めに

ご挨拶申し上げます。美樹と私は今週水曜日にハワイに行き、TBCを代表してハワイ太平洋バプテスト連合の年次ミーティングに出席します。来週の火曜日に帰ってくる予定です。お祈りに覚えて頂くようお願いします。

今日は、ヨハネの手紙第一から「神さまは愛」という新しいシリーズを始めます。この手紙には誰が書いたかが明記されていませんが、初代教会は使徒ヨハネによりエペソにて小アジアの諸教会に向けて、紀元85～100年ごろに、誤った教えや救いに対する疑念に反論するために書かれたと信じていました。

想像してみてください。ペテロとパウロがネロによって処刑されてから20年以上が経ち、ヨハネは年老いてたった一人残った使徒、ある日一通の手紙が届きました。誰かが尋ねます「誰からですか？」手紙を受け取った人が答えます。「十二使徒のひとり、ヨハネからです。彼はまだ生きておられる。」人々は「何が書いてあるのだろう？」というように集まりました。

祈りましょう。

2. 御父と御子の交わり

(1)命の言

ヨハネの手紙第一の1:1-2節を開きましょう。「[1]:初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見たもの、よく見て、手で触れたもの、すなわち、命の言について。[2]:この命は現れました。御父と共にあったが、私たちに現れたこの永遠の命を、私たちは見て、あなたがたに証しし、告げ知らせるのです。」

ヨハネは、この手紙は「命の言」について書いたものだと言っています。

ヨハネによる福音書1:1でヨハネは言っています「[1]:初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった。」この「言」とはイエス、永遠の神の御子であり御父と共におられる方です。イエスは声であり、すべてのものを創造された神の啓示です。

ここにヨハネは、イエスも「御父と共にある永遠のいのちである」と言っています。つまり、イエスは創造主の「言」でありそして「永遠の命」でもあるのです。そしてヨハネはイエスを「命の言」と呼んでいます。
ヨハネによると、イエスが来られ、彼らは聞き、見て、注意深く観察して触れました。イエスは永遠の命であられるので、私たちも「この命」をイエスを通して持つことが出来ます。

この事は度々イエスとろうそくの光の比較で説明されます。
ろうそくに火がつくと、光を放ちます。私たちはろうそくと同じ部屋にいればその光を得ます。しかし、その光は私たちの内にはなく、それはろうそくの光であり、ろうそくが無ければ私たちには光はありません。
同じように、イエスは「命」です。もし私たちがイエスと共にいるなら、私たちも「命」を持ちます。しかし「命」は私たちの内にはなく、イエスにあるのです---イエス無しでは、私たちは「命」をもつことはないのです。

それゆえ、この「永遠の命」は私たちのところに来られたのです。今私たちはイエスと共にあるとき「命」を持つことが出来ます。

(2)交わり

ではどうやってイエスと共にあることが出来るのでしょう？　3節で言っています「[3]: 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせるのは、あなたがたも、私たちとの交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。」

ヨハネは説明しています。ヨハネとほかの使徒たちは、実際にイエスを見て、聞いて、こう認めました。
自分たちは罪人である。神が求めておられる愛、純潔、信仰、謙遜を持っていなかった。神の敵となり、神の

罰を受けて当然の者であった。しかし「言」である神の御子が来られ、彼らの罪の罰を十字架の上で負って蘇られ、これにより彼らは赦されることが出来る。彼らはへりくだってイエスの赦しと助けを受け入れた。彼らは赦された。イエスの聖霊が彼らの内に入り彼らが変わることを助けた---聖霊と共に、彼らは「永遠の命」を受けとっていた。

もし私たちも、使徒たちの証言を信じ、「交わり」を持つなら、つまり、御父と御子の「思い」、「望み」、「最終目的」と実行することを共有し、また次のことも認めることで一つになります：
私たちは罪人であり神が私たちに求める、「愛」、「純潔」、「信仰」、「謙遜」を持っておらず、神の敵となり、罰を受けて当然の者である。しかし、「言」である神の御子が来られ、私たちの罪の罰を十字架の上で負って蘇られ、これにより私たちは赦されることが出来る。そして私たちがへりくだってイエスの赦しと助けを受け入れると、イエスの聖霊が私たちの内に入り私たちが変わることを助けて下さる---聖霊と共に、私たちも「永遠の命」を受け取るでしょう。

しかしこれだけではなく、彼は言っています「私たちの交わりとは、御父と御子イエス・キリストとの交わりです。」

使徒たちと共に、私たちも「御父と御子」との「交わり」を持つことができます。私たち皆が御父と御子の「思い」「望み」「最終目的」を共有し、御父と御子の行動を、彼らが私たちに望まれたように実行していく。こうして私たちは「御父と御子」と「一つ」になっていくのです。

これは、まるでコンピューターのテクニカルサポートから指示を受ける状況に少し似ています。パソコンに問題があるとき、私たちはサポートセンターに電話します。私たちは彼らを信頼して、思い、望み、最終目的と行動を共有します。そして彼らが私たちにしてほしいことを行います。

もしサポートの人が「ソフトウェアに問題があります」と言えば、私たちも「ソフトに問題がある」と考えます。もしサポートの人がコンピューターを再起動してほしいと望めば、私たちは再起動したいと思います。
もしサポートの人がある単語を入力するよう言えば、私たちはその単語を入力します。

私たちは「テクニカルサポート」と一つになり---すべてを共有します。これが、「交わり」のイメージです。

これをうまくできる人と、そうでない人がいます。「テクニカルサポート」と深く同期できればできるほど、つまり「交わり」が親密であればあるほど、より効率的になります。

これは「御父と御子」との「交わり」と同様です。彼らとよりよく「同期」できればできるほど、その「交わり」はより親密になっていきます。そして私たちはさらにキリストに似た者になるでしょう。通常、この親密な交わりは、「毎朝の QT」(神様と過ごす聖書と祈りの時)を通して養われます。

毎朝の QT に馴染みのない方のために、私が普段どのように行っているかをご紹介します。
まず、行う時間と場所を決めます。寝る前に目覚まし時計をセットし、ベッドから離れたところに置きます。朝アラームが鳴ったとき、ベッドを出て止めに行く必要があるようにします。初めて始めた頃は、アラームの隣に「← 寝室を出る」と自分に向けて書いた札を置いていました。この時注意してください。スヌーズボタンには気を付けて。罠ですから。コーヒーや水など、なんでも目を覚ましてくれるものを飲みます。
私が使う道具は、聖書、ノート、ペンまたは鉛筆です。

私はこのようにしています。
準備します。またはただ祈ります。「神さま私に語ってください」。聖書を1日 1 章読みます。どこから始めたらよいか分からなければ、マタイによる福音書(系図は飛ばして OK)から始めてください。マタイを読み終えたら次へ、次へと進み、読み終えたら新約聖書の最初に戻る。あるいは旧約聖書に移っても構いません。神が自分に知ってほしいことや行ってほしいことを探します、少なくとも 1 つ。その聖句と、取るべき行動---もしあれば、をノートに書きます。それは例えば——

- 悔い改め。妻(夫、子ども)にへりくだって赦しを請いに行く。
- 誰かに「ありがとう」のメールを送る。または励ましの言葉をかける。

- 入院しているだれかを訪ねる。
- 誘惑から離れる。そのためにその場所へ行くのをやめる。または何かをする。

祈る。 神に私たちが変わるために助けを求める。

- 自分自身、家族、隣人、職場の同僚のため、TBCのため、どんなことでも祈ります。
- まず自分が願っていることを神にお伝えします。そして神の御心によって答えて下さるよう願います。神はそうしてくださるでしょう。

これを日々続けると、私たちは変わります。神の「思い」は私たちの思いになり、神の「望み」は私たちの望みになり、神の「最終目的」は私たちの最終目的、神の「行動」は私たちの行動、そして神の「命」は私たちの命となります。私たちはいつも主と共にいられ、主に語り、主に導かれ、主に頼り、主と共に行動するようになります。

私たちは「御父と御子」と一つになるでしょう。私たちは彼らと親しい交わりを持つようになるのです。

(3) 私たちの喜びが満ちあふれるために

4節「4:私たちがこれらのことを書くのは、私たちの喜びが満ち溢れるようになるためです。」

御子を通して、御父とこの親しい交わりを持つとき、私たちの喜びは満ちあふれます。

子どもの頃、私はひとりで遊ぶことがありました。皆さんも、自分の家の庭や公園でひとり遊びをしたことがありませんか？ボールを上に投げて自分でキャッチしたり、壁に投げて跳ね返ったボールを捕ろうとしたりするかもしれません。

そんなとき、ふと「お父さんとキャッチボールしている子ども」を見ました。すると、胸の奥にモヤッとした気持ちが湧きます。自分にもあんなふうに遊んでくれるお父さんがいたらいいのに…、とただ願うでしょう。

イエスの生涯には、「御父との交わり」が一貫したテーマになっていたことに気づいたことがありますか？父なる神が語るとき、いつもこう言われました。「あなたは私の愛する子、私の心に適う者。」イエスはいつも御父と共にあり、御父を喜ばせることを行い、「父がなさることは何でも、子もそのとおりにする。」（ヨハネ 5:19）と語られました。

イエスが唯一、絶望された瞬間、それは、私たちの罪のゆえに御父との交わりを断たれたときでした。そのときイエスは叫ばれました。「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」

しばしば、私たちは成熟とは自立するために学ぶことだと考えがちです。でも聖書によると、むしろその逆です。イエスはこう言われました。「よく言っておく。心を入れ替えて子どものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。」（マタイ 18 章 3 節）

霊的成長とは、ますます御父により頼むようになることです。より深く主を信頼し、より多く主に語りかけ、より深く主に傾聴し、より深く交わりを持つようになることです。こうして私たちの全人生がすべて御父について、---御父の「思い」、「望み」、「最終目的」となるのです。
この時に私たちは喜びに満たされます。

あなたはクリスチャンになった「喜び」を経験していますか？ あなたは「御父と御子」と共に「親しい交わり」を楽しんでいますか？あなたは主と共にあなた QT を楽しんでいますか？ 私たちが完全なる「喜び」を持つことが出来るのは--- 交わりを通してなのです。

もしまだあなたが、この経験をしたことがなければ、まずあなたの罪のために死んでくださったイエスを救い主として受け入れてください。そして今日から、イエスとの新しい交わりの人生を始めてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg4725jp

★クラス 402
キリストの伝え方
11 月 23 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 301
賜物発見
1 月 18 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org